

# 司法試験シンポジウム

## ～司法試験の最近の出題傾向等の総括的検討～

日本弁護士連合会では、新司法試験の開始以来、司法試験の出題内容から運営方法まで、その時々的重要課題を取り上げて「司法試験シンポジウム」を実施しています。

司法試験の出題、採点に関しては、司法試験考査委員の中から選任された検証担当考査委員による検証作業が行われる体制が敷かれていますが、出題の仕方の工夫といった技術的問題にとどまらず、より適切な選抜機能を果たすにはどうすべきかが問われています。また、2019年には、法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律の改正が行われ、在学中受験を前提とした場合に、司法試験の内容や試験方法、採点等についても、これまで以上に法科大学院のカリキュラムを踏まえたものとする事が求められています。

こうした流れを踏まえて、司法試験の論文式試験のあるべき方向についての議論を行う予定です。

奮ってご参加ください。

■日 時■ 2022年12月3日(土) 午後1時～午後5時

■会 場■ JIDRC (虎ノ門ヒルズビジネスタワー5F)

オンライン併用 + ZOOM ウェビナーによる配信 要：事前申込み (会場は先着40名)

申込みURL : <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/ssssankamo/1203/>

### ◆プログラム(予定)◆

#### (1) 報告

- ① 今年度の短答式試験及び論文式試験の経年分析
- ② 法科大学院協会による今年度司法試験についてアンケート調査結果  
報告者：堀田 周吾 (東京都立大学法学部教授・法科大学院協会司法試験等検討委員会主任)
- ③ 直近数年間の出題内容と出題趣旨・採点実感の公表の在り方・内容についての総括的分析  
報告者：浅野 博宣 (神戸大学大学院法学研究科教授・憲法)  
滝沢 昌彦 (一橋大学大学院法学研究科教授・民法)  
棚橋 洋平 (早稲田大学法学部准教授・民訴法)  
堀田 周吾 (東京都立大学法学部教授・刑訴法)

#### (2) パネルディスカッション

※御提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理し、本シンポジウムに関する事務連絡のみに使用し、イベント終了後廃棄いたします。

申込期限  
11/25(金)